

内閣府 知的財産戦略推進事務局 提出資料

平成30年4月11日



Japan. Cool Japan.



Japan. "Kampai" to the world.
Sake & Shochu

知的財産戦略ビジョンについて

【問題意識】

IoT・ビッグデータ・人工知能・ブロックチェーンなどの技術進展、情報発信やモノ・コンテンツづくりの主体の広がりと多様化した価値に基づくユーザー主導の進展、少子高齢化など、将来の変化につながる多くの兆しが明確になる中、昨年12月、知的財産戦略本部のもとに「知的財産戦略ビジョンに関する専門調査会」を立ち上げ、2025年～2030年を見据えた知的財産戦略ビジョン（クールジャパン戦略を含む）を検討（本年5月とりまとめ予定）。

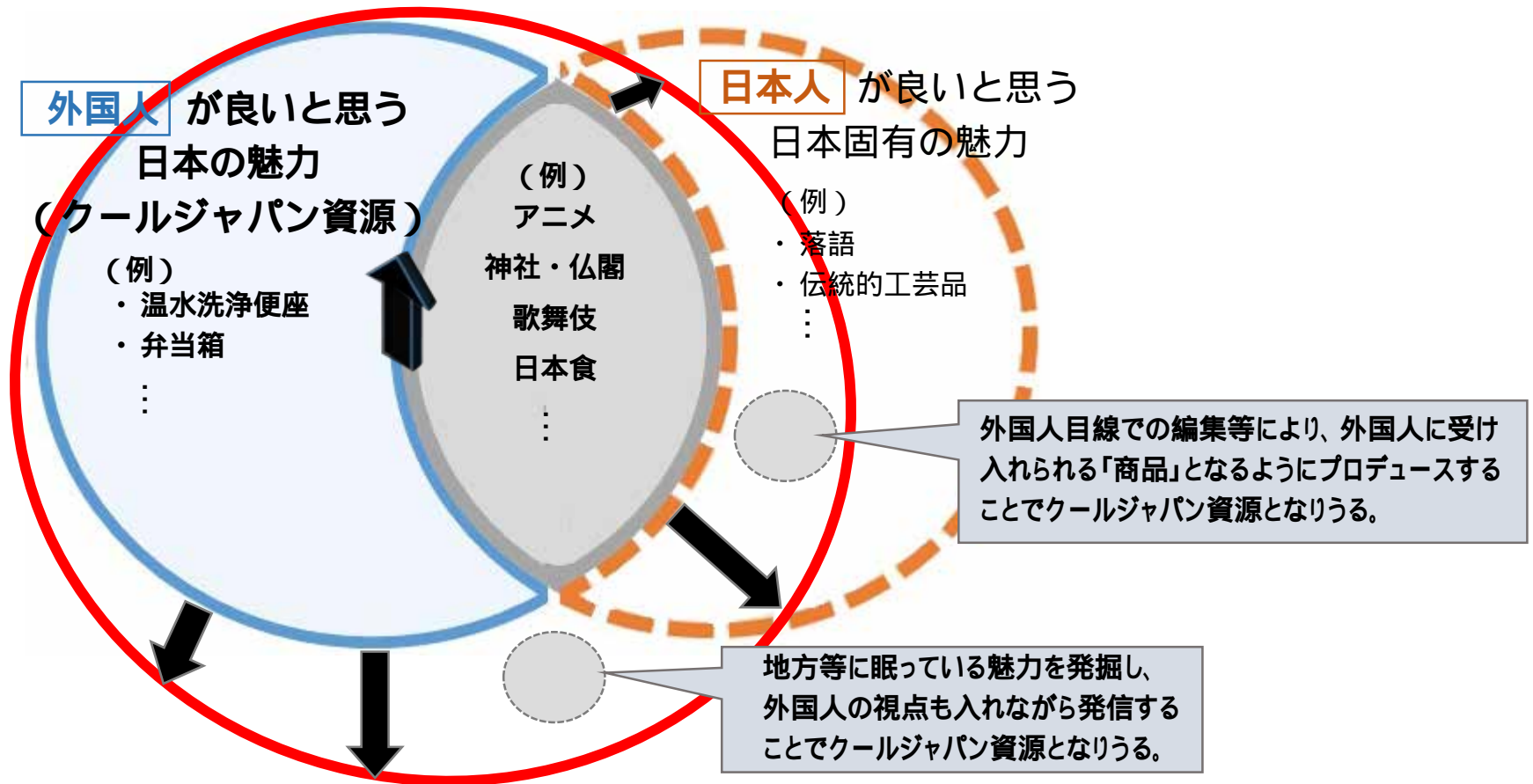
クールジャパンについては、どのような日本の魅力を、どのような外国人をターゲットとして、どのように展開すべきかといった基本戦略を一層の深化について検討している。

（参考）知的財産戦略ビジョンに関する専門調査会委員

安宅	和人	ヤフー株式会社	チーフストラテジーオフィサー
池田	祥護	学校法人新潟総合学院	理事長 / 日本青年会議所2018年度会頭
梅澤	高明	A.T. カーニー株式会社	日本法人会長
落合	陽一	筑波大学	図書館情報メディア系 助教
川上	量生	カドカワ株式会社	代表取締役社長
妹尾	堅一郎	特定非営利活動法人産学連携推進機構	理事長
富山	和彦	株式会社経営共創基盤	代表取締役CEO
中村	伊知哉	慶応義塾大学大学院	メディアデザイン研究科 教授
日覺	昭廣	東レ株式会社	代表取締役社長 / 一般社団法人日本経済団体連合会 知的財産委員会委員長
林	千晶	株式会社ロフトワーク	代表取締役
原山	優子	総合科学技術・イノベーション会議	議員
渡部	俊也	東京大学	政策ビジョン研究センター 教授

クールジャパン政策について

外国人が良いと思う日本の魅力



外国人がよいと思う/今後思ってもらえる可能性のある日本の魅力を効果的に発信・展開することに加え、日本人がよいと思う日本の魅力を外国人にとっても魅力的なコンテキストで発信・プロデュースし、ストーリー化によって、さらに外国人にとっての価値を高め、作ったものを売るプロダクトアウトではなく、マーケットイン（顧客ニーズをすくい取る発想）の観点から、日本をもっと消費してもらうことが重要。

クールジャパン関連分野のマッピング例と効果的な発信

精神

ジャンルの特性も踏まえて、
誰に 何が なぜ
訴求しているのかを解明し、
クールジャパンの持続的生産
につなげていくことが重要

ジャンル

コンテンツ

生活・文化

食

ファッション

モノ

神話

禅・武士道

能・歌舞伎

神社・仏閣

現代アート

和食・日本酒

茶道

J-POP

コスプレ

漫画・アニメ

着物

ゲーム

ロボット

日本画

原宿ストリート
ファッション

コンビニ

伝統工芸

スイーツ

温水洗浄便座
(ウォシュレット等)

効果的な発信のための
コンテキストの例

伝統工芸 (漆塗)

茶道

フランスでは「日本のものだから買う」
ではなく、文化・歴史・哲学・背景に共
感して買ってくれる人が大半。日本文化
に紐づけされた家業のストーリーが重要。
【漆塗生産者】

お茶碗を2度回して飲むという作法の説
明ではなく、それが何のために行われて
いるかがわからなければ、外国人にとっ
ては意味不明の動作にしか見えません。
【デービッド・アトキンソン】

物質

ポップ

深遠

ストーリー化の例（日本酒）

味わい

「本醸造」と「純米」
ひと肌爛、ぬる爛、上爛
umamiとは

製造

杜氏の職人技
酒造りの道具
先人の知恵
機能的な蔵の構造

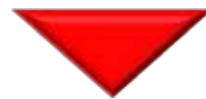
原料

こだわりの酒米
灘の宮水、伏見の伏水
麴・酵母のはたらき

楽しみ方

いろいろな乾杯
盃のやりとり
利き酒

重層的なストーリー



日本産酒類の 付加価値向上

風土

（テロワール）

酒造りに適した気候・地
形・土壌
産地の特徴的な酒質

食との相性

（マリアージュ）

日本料理との組み合わせ
各国料理との意外な組み
合わせ

酒器等

江戸切子、漆器、錫器等
材質や形状による味や
旨み、香りの変化
器による季節感の演出

ラベル

味や香りを分かりやすく
伝達
お酒の価値、イメージを
効果的にデザイン

歴史

日本文化との関わり
（お屠蘇、花見、お清め・・・）
地域や蔵元の歴史
家のストーリー

地方版クールジャパン推進会議

地方におけるクールジャパン資源の発掘・発信を目的として、クールジャパン戦略担当大臣が、知事（市長）や地域の有識者とともに、海外展開の成功事例や課題などを交え、地域のさまざまな魅力を一体的に発信・展開していく方策などについて議論。

第9回沖縄会議で泡盛を主要テーマとして議論、第10回和歌山会議では和歌山産酒の効果的な発信についてもテーマに挙がった。直近は、昨年12月に兵庫県で開催し、神戸の日本酒の海外展開について議論を行った。

クールジャパン推進会議 in 神戸

1. 意見交換

テーマ「港都神戸の礎 ～六甲山系の恵みと五国の豊穡～」

〇 日本酒を含む兵庫県の魅力の一体的発信について議論

松山 政司 内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略）

久元 喜造 神戸市長

荒木 一聡 兵庫県副知事

住田孝之 内閣府知的財産戦略推進事務局長

浜野 京（モデレーター） 内閣府知的財産戦略推進事務局 政策参与

鵜殿 麻里絵 ㈱エムズブランディング 代表取締役社長

安福 武之助 ㈱神戸酒心館 代表取締役社長

金井 良宮 陶泉 御所坊 ブランドマネージャー

田辺 茂 （一社）豊岡観光イノベーション 事業本部長

キラン S.セテイ ㈱ジューターイーターナショナルコーポレーション 代表取締役社長

2. クールジャパンアンバサダー・地域プロデューサーの任命

アンバサダー（金井氏）

地域プロデューサー

（鵜殿氏、セテイ氏）



日本酒ビジネスセミナー

1. 基調講演

テーマ「灘五郷の日本酒はなぜ美味しいのか

～六甲山がもたらす恩恵～」

講師 巽 好之（神戸大学教授）

2. パネルディスカッション

テーマ「兵庫県産酒のさらなる輸出拡大に向けて」

〇 兵庫・神戸の「水」をどのように酒のブランディングに生かしていくか、海外展開へ向けた環境整備や開催を予定している国際イベントを活用した日本酒の展開等について、酒に関わる様々な立場の登壇者で議論を行った。

渡邊 賢一 ㈱XJPJ代表取締役社長、クールジャパン地域プロデューサー

嘉納 健二 灘五郷酒造組合理事長、白鶴酒造㈱ 代表取締役社長

白樺 政孝 剣菱酒造㈱ 代表取締役社長

飯田 豊彦 ㈱飯田 代表取締役社長

安部 ロブシヨ 龍依 JAPAN EXQUISITE㈱ 代表取締役社長

巽 好幸 神戸大学 教授

小野村 拓志 日本食品海外プロモーションセンター 次長

北神 裕 内閣府 知的財産戦略推進事務局 企画官



クールジャパン・マッチングフォーラム2017

我が国の魅力あるコンテンツとそれ以外の分野が連携し、一体となって商品・サービスなどの海外展開を進めることを後押しするため、異業種連携によるビジネス組成のための商談会【マッチングメッセ】、異業種連携の先進的なビジネスプロジェクトの表彰【マッチングアワード】を実施。（日時：2017年12月4日 / 会場：虎ノ門ヒルズ）

マッチングメッセ

1. 展示・商談・出展者によるステージプレゼンテーション
2. コンテンツ等と他分野の有機的連携による新たなビジネスの組成を目指し、20者の出展事業者が、ブースでの展示と、プレゼンテーションを実施。出展者と様々な分野の事業者間で、**合計81件の商談を実施（酒類業者による商談もあり）**。

3. **日本産酒類に関わる出展企業** **株式会社オッチピクチャーズ**

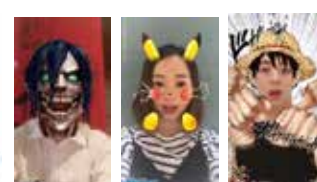
松本零士氏のキャラクターをそれぞれの土地の武将たちとして、ラベルにデザインする等、地域の銘酒、特産物、工芸品とコラボレーションし、地方創生に取り組むプロジェクト。

マッチングメッセでは、酒蔵等と商談を実施。



マッチングアワード

1. 基調講演「あそぶ力。よしもとはガッコ。」
大崎 洋 氏（吉本興業株式会社代表取締役社長）
2. クールジャパン・マッチングアワード2017表彰式
- グランプリ -
「VR ZONE SHINJUKU」
- 準グランプリ -
「映画『TSUKIJI WONDERLAND(築地ワンダーランド)』」
「SNOW×日本のコンテンツ 『顔認識スタンプ』共同開発」
- 審査員特別賞 -
「STAR ISLAND」
「電玉 SAO EDITION」
3. 交流会
日本酒造組合中央会より
日本酒提供



(参考) 内閣府が後援した日本産酒類関連のイベント

	開催日	場所	主催者	概要
日本酒フェア 2017	2017年6月 16日(金)～ 6月17日 (土)	サンシャイン シティ (東京都豊 島区)	日本酒造組合 中央会	全国新酒鑑評会()入賞酒の公開及び、 全国の日本酒が一堂に会する世界最大 の試飲会等を実施。業界関係者のみならず、 一般の参加も多い。 (1911年から現在まで続いている日本酒の新酒の 全国規模の鑑評会)
2018 ミス日 本酒 最終選考会	2018年3月 12日(月)	ウェスティン 都ホテル京 都 (京都市東 山区)	一般社団法人ミ ス日本酒	都道府県ごとに代表者を選考、選出。そ の中から日本酒の魅力を伝えるアンバ サダーの日本代表となる2018 ミス日本 酒を決定する。 (2018グランプリ 神奈川県代表 須藤 亜紗実さん 慶應義塾大学医学部5年)
IWC2018 「SAKE部門」 やまがた関連 事業	2018年5月 12日(土)～ 5月20日 (日)	山形県山形 市、天童市、 鶴岡市、酒 田市、新庄 市、米沢市	IWC2018「SAKE 部門」やまが た開催支援委 員会 (事務局 山形県、山 形県内市町村、関係 団体)	国際的な日本酒の品評会(インターナ ショナル・ワイン・チャレンジ「SAKE部 門」)を国内で開催するとともに、各種関 連イベントを実施。 合わせて、県産酒をはじめとする魅力的 な地域資源を広くプロモーション予定。 (日本での開催は2016年兵庫県以来2回目)
SAKE COMPETITION 2018	2018年6月 11日(月) (表彰式及び受 賞パーティ)	ザ・ペニン シュラ東京 (東京都千 代田区)	SAKE COMPETITION実 行委員会 (実行委員長 長谷 川浩一(はせがわ酒 店))	日本酒文化の普及及び醸造技術向上を 目的とした、日本酒を対象としたコン ペティションを実施。2012年よりスター トし、今回で7回目となる。